

本稿は 2016 年 8 月 15 日、AIG 米国本社が発表した英文プレスリリース（原文）の参考訳です。本稿と原文との間で解釈に相違が生じた際には、原文が優先します。



## AIG は、ユナイテッド・ギャランティー・コーポレーション(UGC)を 34 億ドルでアーチ・キャピタル・グループに売却することに合意したことを発表

ニューヨーク、2016 年 8 月 15 日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）は、本日、ユナイテッド・ギャランティー・コーポレーション（UGC）における 100%持分を、バミューダに拠点を置く、財産、損害保険および再保険の特別商品ならびに抵当保険および再保険を世界中で扱う保険会社である、アーチ・キャピタル・グループ・リミテッド（アーチ）（ナスダック：ACGL）へ売却することに合意したことを発表しました。

本取引の合計対価は、22 億ドル分の現金、2.5 億ドル分の新規に発行されるアーチ永久優先株式および 9.75 億ドル分の新規に発行されるアーチ転換可能無議決権普通株式同等優先株式から構成される、34 億ドルです。

AIG は、永久優先株式を受領する代わりに、規制当局の承認に従い、2.5 億ドル分の売却実行前の配当を受領することを選択するか、アーチより対価として追加現金の提供を受けることができます。34 億ドルの合計対価に加え、AIG は、UGC および AIG 子会社間の、既存の、2014 年から 2016 年の間で開始された事業に関する 50%比例再保険特約に基づき出再された抵当保険事業を全て保有し続けます。

AIG の社長兼 CEO であるピーター・ハンコック氏は、以下のように述べました。「今日、我々は、2015 年 3 月に取り組み始めた戦略において大きな節目を迎えました。当時、私は、AIG の CEO として株主への最初のレターにおいて、我々は AIG をより集中的な会社にすることによって『AIG の将来を築き』、このような目標を達成するためには、選択的な処分が重要な役割を果たすと述べました。我々は、今年初め、IPO および最終的に行った UGC の売却を AIG の最新の全体戦略枠組みの重要な要素として位置づけることによって、その目的を再び表明しました。」

「我々は、この取引が UGC の価値を最大限に生かすとともに我々の組織をさらに効率化させると考えています。この取引によって、2017 年末まで我々の株主に 250 億ドルを還元するといった AIG の取締役会および経営陣による約束を実行すると同時に、我々のクライアントにとって最も価値ある保険会社であるために重要な人材および技術に投資することが可能になります。さらに、この取引は、UGC が最近引き受けた事業や我々のアーチにおける持分を通し、抵当保険市場および当該市場におけるトップ企業との関係を維持します。」

本取引の実行は必要な規制当局による承認に服します。

転換可能無議決権普通株式同等優先株式は、それぞれ、広範囲分散型の募集またはその他特定の取引における第三者への譲渡時に、アーチの普通株式10株に自動的に転換されます。2016年8月12日のアーチの株価の終値に基づき、転換可能無議決権普通株式同等優先株式は、アーチの普通株式の約9%に転換されます（当該日における発行済株式数に基づく。）。AIGは、アーチと投資家の権利に関する契約を締結することにも合意しました。当該契約は、とりわけ、ロックアップ期間後の慣習的な登録届出権を規定するものです。

アーチ・キャピタル・グループ・リミテッドの会長兼CEOであるディノス・イオルダノー氏は、以下のように述べました。

「我々は、ACGLとユナイテッド・ギャランティーの統合に期待しています。なぜなら、これらの企業がリスクに基づく値付けモデル及びデータ分析の重視による革新により、市場をリードしてきたからです。我々は、これらの企業の補完的なリスク管理文化が、革新および健全なリスク管理をさらに促し、我々の特別保険におけるクラス最高のプロセスを最大化する一助となると考えています。」

ハンコック氏は、以下のように付け加えました。

「我々は、UGCおよびその従業員である卓越した専門家らが、消費者の住宅所有の成長および促進、ならびに住宅ローン会社に有益かつ不可欠な保護の提供を継続する上で、アーチという強力なパートナーを得たと考えています。」

本取引において、ジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーおよびモルガン・スタンレー・アンド・カンパニー・エルエルシーがAIGのファイナンシャル・アドバイザーを務め、サリヴァン・アンド・クロムウェル・エルエルピーがAIGの法務アドバイザーを務めました。

UGCは、米国の大手プライベート・モーゲージ保険会社であり、2016年6月30日の時点で有効な1,864億ドルの第一抵当プライマリー・モーゲージ保険を有しています。UGCは、1,800名を超える顧客と約1,050名の従業員（約100名の専門家による国内販売員を含む。）との間に活発な関係を有しています。UGCは、ノースカロライナ州のグリーンズボロに本店を有するAIGの完全子会社です。

アーチ・キャピタル・グループ・リミテッドは、バミューダの公開有限責任会社であり、2016年6月30日の時点で約76.0億ドルの資本金を有しています。バミューダ、米国、ヨーロッパ及びカナダにおける業務を通じて、財産、損害保険および再保険の特別商品ならびに抵当保険および再保険を世界中で扱っています。

本プレスリリースには1995年の米国私募証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）上の意味における「将来の見通しに関する記述」が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述（本書に記載される取引の実行を含む。）は過去の事実ではなく、将来の事象に関するAIGの見解のみを表しており、その多くは性質上、本質的に不確実なものであり、AIGに制御可能な範疇を超えています。連邦証券法により要求される重要な情報の開示につきAIGが引き続き負う義務を除き、AIGは、たとえ新たな情報、将来の事象またはその他の事由が生じて、書面または口頭を問わず随時示される将来の見通しに関する記述を更新または変更する義務を負わず、またそのような義務を明確に否認します。AIGの実際の結果が将来の見通しに関する記述と著しく異なり得る要因は、AIGが米国証券取引委員会に提出している提出書類において記述されています。

# # #

AIGグループは、世界の保険業界のリーダーであり、1919年に創業し、現在では、100以上の国や地域の顧客に、損害保険、生命保険、リタイアメント商品、モーゲージ保険およびその他の金融サービスを幅広く提供しています。AIGの商品・サービスを通じた多岐にわたるサポートは、法人および個人の顧客の資産を守り、リスクマネジメントおよび確かなリタイアメント・セキュリティを提供します。持株会社AIG, Inc. は、ニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場しています。

AIG, Inc. の追加情報については[www.aig.com](http://www.aig.com)  
および [www.aig.com/strategyupdate](http://www.aig.com/strategyupdate) |

You Tube :[www.youtube.com/aig](http://www.youtube.com/aig) | Twitter : @AIGinsurance |

LinkedIn :<http://www.linkedin.com/company/aig> |を参照ください。AIGに関する追加情報を記載しているこれら参照先は便宜上提供されており、かかるウェブサイトに記載されている情報は、参照することにより本プレスリリースに組み込まれていません。

AIGとは、AIG, Inc. 傘下の全世界の損害保険、生命保険、リタイアメント・サービス事業ならびに一般的な保険事業のマーケティング名です。より詳細な情報については当社のホームページ ([www.aig.com](http://www.aig.com)) を参照ください。全ての商品およびサービスはAIG, Inc. 傘下の子会社または関連会社により引き受けまたは提供されています。これらの商品およびサービスは一部の国では利用できない可能性があり、実際の契約に準拠します。保険以外の商品・サービスは、独立した第三者によって提供されることがあります。一部の損害保険の補償については、サープラス・ラインの保険会社によって提供される可能性があります。サープラス・ラインの保険会社は、一般的に米国州政府保証基金に加入しないため、当該基金による保証は行われません。